

授業科目 (ナンバリング)	化粧品学 (NC213)			担当教員	佐藤 博		
展開方法	講義	単位数	1.5 単位	開講年次・時期	2年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
<p>すでに学んだ有機化学などを基礎にして、化粧品の原料となる物質を挙げ、ヒトの皮膚や毛髪に対する作用を学ぶことを目標とする。まず、薬事法における化粧品の定義を理解し、医薬品、医薬部外品との違い、化粧品の意味、化粧品と薬用化粧品の違い、化粧品の成分表示について理解する。また、皮膚や毛髪の構造や機能、化粧品と皮膚の関わり、化粧品の原料、配合成分の物理化学的性質についても理解を深めることを目標とする。</p>							②⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	化粧品に興味を持ち、化粧品を使用することの有益性を自ら調べ、考えて意見を述べるができる。				授業態度・授業への参加度 定期試験	5% 55%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	(1) 化粧品科学を他の専門科目と関連づけることができる。 (2) 化粧品科学を生活の場に置き換えて説明できる。				レポート	40%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>講義、配布資料、パワーポイント等の内容範囲から、レポートと定期試験を課し、これを基に判定する。レポートは3テーマを提出して最高40点とし、未提出分は減点する。</p>							
授業の概要							
<p>化粧品学はかなり多岐な分野にわたる科目であるため、化粧品に関連する科学とのつながりを含めて、多くの話題を提供する。更に、皮膚の障害・疾患等については皮膚科医の先生に講演していただく予定である。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、112.5分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定しない 参考書：化粧品科学ガイドブック 田上八郎他 (フレグランスジャーナル社) 化粧品科学 石田達也 佐藤孝俊 (朝倉書店) 新化粧品学 第2版 荒井武夫編 (南山堂) 指定図書：なし</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
疑問点があったら積極的にいつでも質問して自分のものにして欲しい。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号*
1	化粧品概論	化粧品の定義、分類、品質特性、化粧品と関連科学について理解する。(佐藤)	定義、分類を復習する。	337
2	化粧品に関する法規	化粧品に関する薬事法の概要、化粧品基準について理解する。(佐藤)	薬事法の概要を復習する。	537
3	化粧品の安全性と品質表示	化粧品の成分規制、安全性試験、酸化防止剤、抗菌剤について理解する。(佐藤)	成分規制を復習する。	
4	化粧品の物理化学	コロイド、界面化学、レオロジーについて理解する。(佐藤)	界面化学を復習する。	854/855/856/857
5	化粧品原料・製剤	化粧品の基本的な原料と製剤について理解する。(佐藤)	原料と製剤を復習する。	566
6	化粧品と分析	化粧品・皮膚・毛髪の実験について理解する。(佐藤)	皮膚・毛髪の実験を復習する。	
7	皮膚・爪(1)	皮膚・爪の構造と機能について理解する。(佐藤)	皮膚・爪の構造を復習する。	413/544
8	皮膚・爪(2)	皮膚・爪の生理作用、紫外線と皮膚、皮膚障害等について理解する。(皮膚科医)	皮膚障害を復習する。	413/684/685/686/687/708
9	皮膚用化粧品	スキンケア化粧品、メーキャップ化粧品、乾燥、しみ、そばかす、しわについて理解する。(外部講師)	スキンケア・メーキャップを復習する。	413/544
10	毛髪	毛髪の構造と機能について理解する。(佐藤)	毛髪の構造と機能を復習する。	856
11	頭髪用化粧品	シャンプー、リンス、育毛、パーマメント、染毛について理解する。(佐藤)	シャンプー、リンスを復習する。	
12	化粧品・特殊化粧品と薬剤	皮膚用薬剤、口腔用薬剤、薬品化粧品、紫外線防御用化粧品、デオドラント化粧品、浴用剤について理解する。(外部講師)	皮膚用薬剤を復習する。	856
13	芳香化粧品	嗅覚のメカニズム、芳香化粧品の製品特性について理解する。(佐藤)	嗅覚のメカニズムを復習する。	856
14	芳香化粧品	簡単な香水を作成する。(佐藤)	各精油のにおいを調べておく。	
15	まとめ	講義のまとめ(佐藤)	配布プリントを復習する。	
16	定期試験	筆記試験		

注) 上記の第1回～第15回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

*到達目標番号と到達目標の対応は、巻末のコアカリ SB0 番号/項目対応表を参照して下さい。